

2015 年懇話会 テーマ「わたしの生きがい」

2015 年 11 月 28 日 クローバー同窓会

今年の懇話会は「よかったこと、楽しかったことなど気楽に話して下さい」という司会の一井さんのリードで始まりました。参加者の発言を内容別に編集してレポートします。（実際の発言順と異なります。）

老いと病気で思ったこと

男性 I さん： 家内が一時呼吸器障害になり、その間「おさんどん」を勤めることに。ご飯は炊飯器で出来るが、おかずを作るのが大変だった。洗濯しても干さなきゃならないし、主婦業がいかに大変かよく分かりました。今やっていることは皿洗いくらいですが・・・

男性 A さん： 家内が蒲団につまずいて脊椎骨折し、半年かかってやっと回復しましたが、その間わたしは「おさんどん」。いやあ、大変でした。今は前より家内を大事にしています。

男性 F さん： 前立腺の手術で入院しました。その時読んだのが内館牧子の「終わった人」、感銘を受けましたね。

男性 E さん： 実は一昨日の朝、めまいで倒れました。生まれて初めてのことですが、医者に聞いたら「良性突発性〇〇くらみ症」とのこと。意識はあって、耳の関係のようです。

女性 N さん： 私の周りに医者が多いのですが、医者は薬を売りたいんです。日本が一番薬を買っている国。でも細胞が衰えればがんになる。がんになれば（自然にまかせて）死ぬときは死ねばいい。私の兄は三十代でがんになったけど、今も元気です。

社会、政治とかかわる

男性 I さん： 安倍晋三君なんて戦争を知らない人が余計なことをしている。「戦争法の廃止を求める統一 2000 万人署名」を持って来たので、出来れば署名して下さい。（持参された署名簿が全部埋まりました。）

男性 E さん： 来年八十になるけど、国会のデモに参加しています。

女性 A さん： 昭和8年生まれの私が一番年上でしょう。残りの人生、賢く勉強しなきゃ。今は老人ホームに入るのが大変な時代ですが、ウチの土地に建物を建てて都にお貸しすると、区の施設として月 14 万円で入居できますよ。

男性 O さん： 15 年前に「これからどう生きる」と書いた紙をどこかに置いて、それっきり忘れていました。今は日本語教師の資格を取り、フィリピンや中国の人に教えています。日本人にも中国語を教えています。わたし、成績は悪かったんですけど、今は「先生、先生」と呼ばれています。大事ななのは、自分で面白いことしかししないこと、あまり頑張らないことです。薬と医者は不要。中国で仕事をしている時は頑張り過ぎて血圧が 160 まで上がったけど、日本に帰ったら下がりました。これからは孫とスキーをやりたい。絵も始めたので、「裸婦」の大作を仕上げたいです

趣味を深める

女性 H さん： わたしはこの壱岐坂近くで生まれ、4 歳で栃木へ疎開しました。すごい雪の日で、その時以来ぜんそく持ちになりました。でも気持ちは明るい子で、歌とお遊戯が大好き。両親が俳句をやっていて、姉もわたしも小さい頃から俳句をやりました。謡は宝生流です。『楽しい料理教室』は今もやっています。

女性 N さん： わたしは金春流の謡と仕舞をやっています。この前の遷宮の時は、伊勢神宮で奉納の舞台に立ちました。

男性 O さん： 合唱団に入ったけどレベルがだんだん高くなって、5 年前にやめました。今は 20 年以上やっている美術(絵)に専念しています。北区の展示場で披露したり、東銀座の地下道に飾ったりしています。あ、ここの展示は今日までだ！

女性 N さん： 60 代でゴルフを始め、先生が親切で「力を抜くことが大事」と教えられました。でもあまりにハマって、肩を痛めてしまいました。今は週に 1 回「リハラボ」という所で、ウォーキングや自転車こぎをしています。肩こりは治りました。

旅を楽しむ

男性 T さん： 4 年前に家内と旧街道歩き始めて、中山道と甲州街道を踏破しました。私どもの足では 1 日に 12～13 キロしか歩きません。今は東海道を歩いていて、静岡の三ヶ日まで行きました。

女性 F さん： 楽しみは海外旅行です。この 10 月は北米からノルウエーの船に乗って中米のコスタリカに行ってきました。海外へは年に 3 回くらい行きます。

以上